

「京都で学ぶアジアと日本」研修 2016

Nguyen Phan Huong Ling

Vietnam National University, Hanoi

7th FEB – 20th FEB 2016

(a) Academic outcomes

日本語の授業では、聴解、すなわち聞き取り方を勉強した。ハノイ国家大学での授業など、ベトナムではあまり聴解を練習してこなかったが、今回、日本語の授業を通して、聴解能力が向上したと思っている。そして、日本語らしい日本語を勉強したことで、自信を持つことができたと言える。また、ハノイ国家大学で日本文化も勉強しているが、実際に日本に来て、実際に見学・体験することで、理解を深めることができた。

(b) My experiences in Kyoto University

今回は初めて海外旅行なので、プログラム期間の前半は緊張していた。日本とベトナムの間には相違点がたくさんあり、まったく初めての経験が多かった。日本で生活した2週間の中でとくに印象的だったのは、ごみの分別と、道を渡るときに横断歩道を使うということである。また、京都大学で様々な初めての経験が出来、たいへん楽しかった。京都大学の日本人学生や他の短期交流学生と一緒に伝統的な文化を体験した。京都には、お寺と神社が多く、金閣寺と銀閣寺という世界遺産を見に行った。とても素晴らしかった。そして、最終日の発表のためにチームを分けた。私のチームにはタイ人の友達がいた。発表準備のときなど、彼女たちと色々と相談し、多くの異文化交流の機会が得られた。

(c) The content of the program

今回のプログラムでは色々なことを学んだ。2週間のあいだ、おもに日本語の授業を受けた。さらに、日本語だけでなく、日本文化について講義を受けた。他には、和菓子作りの体験や、琵琶湖の見学など、多くの活動に参加した。

(d) The impact of the program on your career plans

ハノイ国家大学では日本語を専攻しているので、将来は日本語に関する仕事をしたい。そのため、今回のプログラムにおけるもっとも大きな成果は、自分の日本語能力を高めることができたということである。もう一つは、友達がたくさんでき、日本人だけでなく、インドネシア人、タイ人の友達ができただけである。加えて、チームワークをはぐくむということも学んだ。これらは、今後の私の進路にとって、良い体験だと思っている。